

令和元年度  
事業報告書

社会福祉法人 武雄市社会福祉協議会

## 1. 事業の概要

「お互いさまで言えるあたたかいまちづくり」を基本理念に、誰もが住みなれた家庭や地域社会で心豊かに生活できるよう、関係機関・団体等のご協力をいただき、住民主体の地域福祉の推進に努めた。

## 2. 社会福祉協議会会務の運営

### 【1】役員会（理事会・監事会）の開催

#### (1) 理事会

第1回理事会：令和元年6月5日（水）10時～

##### 議事

- ・平成30年度事業報告
- ・平成30年度決算
- ・評議員選任候補者の推薦
- ・評議員選任解任委員の選任について
- ・令和元年度定時評議員会の開催

##### 報告事項

- ・経理規程の一部改正
- ・会長専決事項（平成30年度補正予算第4回）
- ・会長及び常務理事の職務執行状況の報告

第2回理事会：令和元年6月20日（木）13時30分～

##### 議事

- ・会長の選任
- ・副会長の選任
- ・常務理事の選任

第3回理事会：令和2年3月18日（水）10時～

- ・経理規程の一部改正
- ・育児休業・介護休暇等に関する規程の一部改正
- ・令和2年度事業計画
- ・令和2年度当初予算
- ・評議員候補者の推薦
- ・令和元年度第2回評議員会の開催

##### 報告事項

- ・会長専決事項の報告（経理規程の一部改正）
- ・令和元年度補正予算第1回
- ・令和元年度補正予算第2回
- ・令和元年度補正予算第3回
- ・令和元年度補正予算第4回
- ・会長及び常務理事の職務執行状況の報告

第4回理事会：令和2年3月26日（木）13時30分～

- ・副会長の選任

#### (2) 監事会

第1回監事会：令和元年5月20日（月）10時～16時

##### 監査事項

- ・平成30年度会計の諸表に関する事

第2回監事会：令和元年11月7日（木）10時～16時

- ・令和元年度上半期会計の諸表に関する事

### 【2】評議員会の開催

定時評議員会：令和元年6月20日（木）10時～

議 事

- ・定款の一部を改正する定款
- ・平成30年度事業報告及び決算
- ・理事及び監事の選任

報告事項

- ・会長専決事項（平成30年度補正予算第4回）
- 第2回評議員会：令和2年3月26日（木）10時～

議 事

- ・定款の一部を改正する定款
- ・令和2年度事業計画及び令和2年度当初予算
- ・理事の選任

報告事項

- ・会長専決事項（令和元年度補正予算第1回）
- ・会長専決事項（令和元年度補正予算第2回）
- ・会長専決事項（令和元年度補正予算第3回）
- ・会長専決事項（令和元年度補正予算第4回）

【3】評議員選任・解任委員会の開催

令和元年6月6日（木）10時～

- ・評議員の選任

令和2年3月19日（木）10時～

- ・評議員の選任

【4】社協会員の加入促進

市内全戸会員制度の意識高揚と財源確保を目的として、区長会・民生委員児童委員協議会のご協力を得て会員の加入に取り組んだ。

	会員数	納入額（円）
一般会費（1口 400円）	14,298	5,719,200
賛助会費（1口 1,000円）	1,084	1,084,000
団体会費（1口 3,000円）	0	0
法人会費（1口 5,000円）	9	45,000
計	15,391 (前年度：15,300)	6,848,200 (前年度：6,855,501)

【5】社協広報誌の発行

「武雄市社協だより かがやき」を年6回発行し、社協活動・地域福祉活動の啓発を目的に市内全戸に配布した。

3. 老人福祉センター事業

【1】「日輪荘」（市補助事業）

送迎バス「日輪号」を週4回（火・水・木・金）定期運行し利用者の便を図った。また、健康相談、民謡教室、謡曲教室、吟詠教室、囲碁例会などを開設し、高齢者の趣味とコミュニティの場として福祉の向上に努めた。利用状況は、次のとおりである。

（単位：人）

	市 内	市 外	合 計
平成31年4月	975	9	984
令和元年5月	864	8	872
6月	889	10	899

7月	947	6	953
8月	556	10	566
9月	543	5	548
10月	867	10	877
11月	886	12	898
12月	877	13	890
1月	862	7	869
2月	827	9	836
3月	739	2	741
計	9,832	101	9,933

※8月豪雨災害のため8/28閉館。職員災害ボランティアセンター従事のため9/2～9/10閉館。

【2】「長寿園」(市補助事業)

送迎バスを北方町内で定期運行し利用者の便を図った。また、高齢者の趣味とコミュニティの場として福祉の向上に努めた。利用状況は、次のとおりである。(単位：人)

	市 内	市 外	合 計
平成31年4月	467	30	497
令和元年5月	415	15	430
6月	385	30	415
7月	494	26	520
8月	286	22	308
9月	7	9	16
10月	412	16	428
11月	427	28	455
12月	543	17	560
1月	470	19	489
2月	397	19	416
3月	327	19	346
計	4,630	250	4,880

※8月豪雨災害のため8/28休館。8月豪雨災害の避難所8/28～9/16。10/1～開館。

【3】老人福祉センター「さざんか荘」(市受託事業)

送迎バスを山内町内で定期運行し利用者の便を図った。また、高齢者の趣味とコミュニティの場として福祉の向上に努めた。利用状況は、次のとおりである。(単位：人)

	市 内	市 外	合 計
平成31年4月	263	0	263
令和元年5月	271	2	273
6月	295	0	295
7月	335	0	335
8月	200	0	200
9月	212	0	212
10月	271	0	271
11月	289	0	289
12月	272	0	272
1月	280	0	280
2月	266	0	266
3月	300	0	300

計	3,254	2	3,256
---	-------	---	-------

※8月豪雨災害のため8/28休館。職員災害ボランティアセンター従事のため9/2～9/6休館。

#### 4. 生きがい対応型デイサービス事業（市受託事業）

介護保険の認定で自立と判定された高齢者で支援を必要とする方への介護予防事業として、「生きがい対応型デイサービスセンター事業」に取り組んだ。利用者数は次のとおりである。  
（単位：人）

①湯遊くらぶ（武雄）								
	武雄	橘	朝日	若木	武内	東川登	西川登	計
平成31年4月	94	24	72	30	101	18	13	352
令和元年5月	72	28	73	30	95	16	15	329
6月	87	28	77	31	98	20	13	354
7月	98	43	74	32	94	21	13	375
8月	62	26	38	18	84	11	7	246
9月	57	18	25	23	71	0	0	194
10月	98	25	55	27	110	12	5	332
11月	75	33	50	28	95	24	10	315
12月	84	21	60	27	90	24	12	318
1月	85	18	61	27	93	12	6	302
2月	82	22	45	27	90	14	3	283
3月	97	17	82	31	77	51	22	377
合計	991	303	712	331	1098	223	119	3,777

※8月豪雨災害のため8/28休み。職員災害ボランティアセンター従事のため9/2～6、9/9～9/10休み。

（単位：人）

②ふれあい（山内）		③やわらぎ（北方）	
平成31年4月	100	平成31年4月	82
令和元年5月	98	令和元年5月	87
6月	113	6月	90
7月	120	7月	97
8月	78	8月	56
9月	78	9月	35
10月	117	10月	86
11月	103	11月	87
12月	104	12月	85
1月	90	1月	94
2月	98	2月	94
3月	103	3月	104
合計	1,202	合計	997

※8月豪雨災害のため8/28休み。職員災害ボランティアセンター従事のため9/2～9/6休み。

※長寿園が避難所で使用のため8/28～9/16休み。

## 5. 生活支援事業

### 【1】弁護士相談

市民のあらゆる相談に対応する目的で、佐賀県弁護士会の協力を得、無料弁護士相談を計24回開催した。開催日及び会場は次のとおり。

本 所 毎月第2木曜日 13:00～16:00 (年12回)

武雄市社会福祉協議会本所 相談室

山内支所 毎月第4木曜日 13:00～16:00 (年12回)

武雄市社会福祉協議会山内支所 1階相談室

(老人福祉センターさざんか荘内)

また、弁護士相談以外に社協事務局でも各種相談を受け付けており、一年間で取り扱った件数は、全体で次のとおりである。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合計
相談事項	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・医療	人権・法律	財産・相続	借金問題	金銭トラブル	事件・事故	老人福祉	児童福祉	障がい者福祉	母子福祉・父子福祉	苦情	その他	
件数	98	0	2	9	4	0	7	4	2	13	1	9	2	0	0	0	0	0	13	164

### 【2】遺言・相続相談

遺言及び相続に関する相談を専門的に対応する目的により、佐賀県行政書士会の協力を得て、無料相談を計12回開催した。開催・会場及び相談件数は次のとおり。

本 所 偶数月第3木曜日 13:00～17:00 (年間6回)

武雄市社会福祉協議会本所 相談室

山内支所 奇数月第3木曜日 13:00～17:00 (年間6回)

武雄市社会福祉協議会山内支所(老人福祉センターさざんか荘内)

(単位：人)

会場	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本 所	3	2	1	2	2	3	3	1	1	1	1	1
山内支所	0	1	1	3	3	1	1	1	1	1	1	1

### 【3】福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで、判断能力が不十分な方を対象に、金銭管理、福祉サービス利用の手続きなどの支援を行った。令和元年度の利用契約数は30件（契約内訳は新規6件、継続27件、解約3件）、相談支援件数延2,132件であった。

### 【4】つなぎ生活費貸付事業

低所得者世帯に属し、生活上一時的に緊急な少額のつなぎ生活費を必要とする方を対象に、関係機関と連携を取りながら資金貸付を行った。令和元年度の貸付申請件数は43件、うち貸付件数は41件（前年度貸付件数：51件）であった。

【5】生活福祉資金貸付事務事業

県社協の委託事業で、低所得世帯、障害者世帯、または、高齢者が属する世帯を対象に資金を貸し付けることにより、その世帯の自立更正を図ることを目的に事業を実施している。

令和元年度の貸付相談件数は20件（前年度相談件数：35件）、貸付件数は0件（前年度貸付件数：1件）であった。

また、3月25日より新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付については貸付相談件数12件、申請件数は3件であった。

【6】家屋内ごみ片付け支援事業

地域から孤立化し、自力による家屋内のごみ処理が困難なため生活環境が劣悪化し、健康への悪影響を及ぼしている世帯に対し、ボランティアや地域住民の協力で、ごみ片付けを支援することにより、希薄になった地域住民との繋がりを取り戻し、地区社協を核とした住民総参加による福祉のまちづくりを推進することを目的としている。

令和元年度 相談2件、申請1件であった。

【7】生活困窮者自立支援事業(自立相談支援事業)

市受託事業で、生活困窮者を対象に自立した生活に向け関係機関と連携し相談業務を実施している。令和元年度は、相談者数83名、利用申込件数36件、プラン作成件数19件（自立14件、家計5件）であった。

【8】緊急生活支援

現物支給等による生活維持・緊急生活支援を1世帯に行った。内訳はライフライン支援（電気料）であった。非常食として粥29食、ビスコ12袋を支援した。

「いのちをつなぐ糧事業」では個人及び団体から58回、玄米、精米、そうめん、缶詰、インスタント食品、レトルト食品等を、ご寄付いただき、延べ155回食料を支援した。

6. 地域福祉活動事業

【1】地区社協活動の支援

(1) 地区社協活動費の交付

地域住民の要望を踏まえ社協活動を強化し、それぞれの地域に応じた活動を行い、住民の福祉の増進を図るため、総額4,523,000円の地区社協育成費を交付し育成に努めた。

(2) ふれあいいきいきサロンの推進

高齢者を中心に、地域住民が助け合い生きがいをもって生活できるよう、地区社協を核とし、ボランティアの協力を得ながらサロンの運営支援に努めた。

各地区社協内で新規に立ち上げられたサロンに対し、年間3万円を上限に助成金交付を行った（16件）。

【2】各種福祉団体等運営費助成事業

市内で活動する9つの福祉団体の育成を図るために、総額2,581,650円の助成金を交付した。

### 【3】認知症地域支援・ケア向上事業

市受託事業で、住民や認知症サポーター、医師や介護の専門職など、さまざまな人・団体と連携、協力しながら認知症になってもならなくても安心して暮らせるように地域で支える体制づくりに取り組んだ。

#### (1) 地域において認知症を支援する関係者の連携を図る取り組み

- ・介護事業所、病院、警察署、民生委員児童委員協議会、区長会、老人会など事業説明や協力依頼に57件訪問し説明を行った。
- ・キャラバン・メイト情報交換会を3回開催した。新たなメイトの方を迎え、どうしたら地域の方に認知症サポーター養成講座を受講してもらえるのかなど活発な意見が出た。

#### (2) 地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援や支援体制を構築するための取り組み

- ・在宅介護支援センター会議、地域ケア個別会議、第2層コーディネーター会議等の会議に出席し、情報交換を行った。各会議出席件数 11件（認知症初期集中支援チーム会議、在宅介護支援センター会議地域ケア個別会議、介護支援専門員会議）
- ・地域から寄せられる認知症相談を市に繋げ、連携を図りながら、個別訪問を行った。認知症に関する相談件数（総数）34件 認知症に関する訪問件数（総数）15件
- ・認知症サポーター養成講座の依頼を受け実施した。認知症サポーター数を増やし、認知症の理解や見守りの支援をお願いした（開催件数—登録者数）  
総数 13件—603名（中学校 5校—388名・それ以外 8件—215名）

#### (3) その他、認知症啓発活動の取り組み

- ・市の出前講座に市民の方が気軽に認知症を学んでいただけるよう3つの講座を設けた  
認知症予防講座35件  
認知症サポーター養成講座～入門編～ 8件  
認知症サポーター養成講座～実践編～ 3件
- ・認知症啓発DVD無料貸し出しを行い、介護事業所や、協議体の勉強会での利用を紹介した  
ユマニチュード 3件  
いつでも連絡してね 3件  
無事に帰ってこれるまちづくり 3件
- ・武雄市物産まつり会場にて、認知症啓発イベントとして、認知症のアンケート調査とスタンプラリーを実施した。  
アンケート・スタンプラリーには、226名の方が協力していただき、その内認知症見守り声掛けボランティアとして協力隊として、協力する意思のある方が64名いた。
- ・認知症フェスタは、市民の方の認知症への意識の高揚と、地域で支える認知症への支援を目指す目的として開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、開催中止となった。

### 【4】介護者支援事業

在宅で介護されている方や、介護経験者の方を対象に日頃の悩みや体験等をお話する機会を作り、介護の疲れを癒し、リフレッシュを図る目的で開催した。参加者が増えず今年度で事業終了とする。

介護カフェ

期 日	毎月第3水曜日
会 場	武雄市図書館
時 間	14:00～15:00
参加者	延べ27人



【5】「お互いさま活動」支援事業

地域の方々を交えて行う福祉のまちづくりを目的とした団体・グループの事業に対し助成を行う事業で、上限を10万円とし、申請のあった1団体（前年度より3団体減）に対し100,000円の助成金を交付した。

【6】福祉用具等再利用支援事業

福祉用具等を譲りたい、譲って欲しい人を登録してもらい、双方に斡旋することで資源の有効活用と日常生活の利便性の向上を図ることを目的として実施。譲ります9件、譲ってください7件、全体で16件の登録があり、交渉成立は0件であった。福祉用具の需給バランスにミスマッチが大きく、成立する件数が少なく今年度で事業終了とする。

【7】福祉教育の推進と体験学習指導

福祉教育を推進し社会福祉への理解と関心を高めるため、総合学習の一環として依頼があった市内小学校、キッズルーム、PTA 行事、企業研修等（11件）へ出向き、「高齢者疑似体験」「アイマスク体験」「車イス体験」等について指導し、福祉に対する理解を促した。

【8】移動サービス・福祉車両貸出事業

公共の交通機関を利用した外出が困難な高齢者や障がい者を対象に、福祉車両（車イス搬送仕様自動車）を利用した移動サービスおよび福祉車両の貸し出しを行った。移動サービスの際の運転は、運転ボランティアや職員が行い、令和元年度の登録件数は12件で、利用件数は移動サービスが117件、福祉車両貸出が2件であった。

【9】市内最高齢者記念品贈呈

敬老の日に長寿を祝い、市内の男女それぞれの最高齢者に記念品を贈呈した。

【10】共生型ふれあい交流事業

様々な人と交流を深め、障害者への理解促進を図り、障害を持つ方やその保護者に人と接する喜びを感じてもらう事を目的としている。また、レクリエーションのサポーターとして、地域のボランティアや学生など参加協力をお願いし、ボランティアの育成を図った。

期 日 令和元年6月23日（日）9：30～11：30

場 所 白岩体育館 小競技室

内 容 ボランティアの皆さんとニュースポーツ体験

参加者 障がい者11名、保護者4名、施設職員1名、市ボラ連5名  
武雄看護リハビリテーション学校学生11名、武雄市スポーツ推進員協議会11名

【11】福祉機器等貸出事業

社協で所有する車イスの無料貸出しを行った。貸出し件数は28件であった。また、地域行事で使用する綿菓子機についても貸し出しを行った。貸出件数は6件。

【12】ボランティア事業

(1) ボランティア活動実践校活動費助成金交付事業

市内の小・中・高等学校、14校（前年度同数）に対しボランティア協力校として、活動費総額619,976円（前年度比90,024円減）を助成し育成に努めた。

(小 学 校) 武雄小、御船が丘小、朝日小、若木小、武内小、東川登小、西川登小、  
山内東小、山内西小、北方小  
(中 学 校) 武雄北中、川登中、山内中、北方中

(2) ボランティアスクール

学生を対象とした福祉教育の一環として、また福祉に対する意識の向上を目的として小学生の部と中・高校生の部に分けて開催した。第1回目は小学生の部で、武雄市ボランティア連絡協議会と共催により開催した。

期 日 令和元年7月15日(月) 祝日  
場 所 小佐々海洋スポーツ基地  
内 容 カヤック体験と災害炊き出し訓練・障害者スポーツ学習  
参加者 18名

第2回目 中・高校生を対象に開催

期 日 令和元年8月25日(日) 10:00~15:00  
内 容 24時間テレビチャリティー街頭募金活動  
午前の部: 参加者 9名  
午後の部: 参加者 4名 総勢 13名参加

(3) ボランティアグループ活動費助成事業

市内のボランティアグループで、事業費の申請があった20グループ(24事業)に対して総額958,792円(前年度より24,792円増)の助成金を交付した。

(4) 障がい児者交流活動事業助成事業

武雄市ボランティア連絡協議会、ボランティア武雄「みふね55会」、手作り遊具の会「あかとんぼ」が実施する障がい児者との交流会・在宅訪問活動・遊具による交流活動に対し113,000円の助成金を交付した。

(5) ひとり暮らし 会食・配食助成事業

一人暮らし老人とのふれあいを目的とした会食会や配食サービスを実施する市内ボランティアグループ等9団体に対し、事業費の助成金、総額813,000円を交付した。

(6) ボランティアセンター事業

ボランティア活動の活性化を図る為に、ボランティアの育成援助並びに地域のニーズ把握に努めるとともに、情報の提供及び各種講座等を開催し、市民のボランティア意識高揚とボランティア活動の推進をおこなった。

①ボランティアコーディネート(相談・登録・情報提供)の強化

市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるとともに、ボランティア活動の活性化とニーズの把握、調整に努めた。

②傾聴ボランティア養成講習会

地域福祉確立にかかわるボランティアの拡充と資質向上、ボランティアの育成を図ることを目的に、一般住民等を対象とした講座を開催した。

期 日 令和元年9月21日(土)、9月24日(火)  
会 場 武雄市社会福祉協議会 2階会議室  
参加者 1日目19名、2日目20名

③武雄市ボランティア連絡協議会への支援・協力  
 武雄市ボランティア連絡協議会が開催する会議への参加と各種事業への支援・協力を行った。

④キッズ・ルーム（学童保育事業）への支援  
 土曜日の児童の活動の場として小学校低学年児童（1年生～3年生、一部の地区では全学年）を対象とした「キッズ・ルーム」を実施するボランティアグループへの支援を行った。

⑤ボランティア活動保険の受付  
 地域行事やボランティア活動などを支援するため、ボランティア保険の加入受付を行った。

⑥広報誌「ボランティアだより たけお」の発行支援

(7) 傾聴ボランティア派遣事業  
 平成27年7月に武雄市傾聴ボランティアグループ「うなずき愛」が発足。令和元年度より、派遣事業は同グループ主導へ移行。本会は、個人宅の開拓や同グループの研修の支援を行った。

(8) ボランティア活動の広域的な展開  
 杵島・武雄地区ボランティア連絡協議会との連携を強め、レクリエーション交流会を実施した。

(9) 24時間テレビチャリティへの協力  
 毎年8月に実施される「24時間テレビ 愛は地球を救う」の放送日に合わせて、下記によりチャリティ募金活動を実施した。集まった募金は24時間テレビチャリティ実行委員会へ送金した。

実施日 令和元年8月25日（日）10：00～15：00

募金総額 153,546円

募金会場		募金ボランティア人数
ゆめタウン	武雄店	13名

【13】災害見舞い

8月豪雨災害の床上浸水の世帯へは災害救助法適用により義援金の対応となるため、見舞金の支給はない。

火災にあわれた4世帯に全焼見舞金各50,000円合計200,000円を支給した。

【14】安心・安全なまちづくり支援事業

住民が地域で安心・安全に生活するための課題解決に向けた取り組みを支援するため4地区へ助成金を交付した。

- ・上野農村公園遊具施設等整備事業 192,000円
- ・三間坂公民館フェンス設置工事 200,000円
- ・下黒髪農村公園グラウンド外柵張替 200,000円
- ・馬神区多目的広場遊具修繕工事 200,000円

【15】社会福祉大会の開催

地域福祉の推進と啓発を目的に、第13回武雄市社会福祉大会を開催した。式典では社会福祉の発展に貢献された個人23名及び1団体に対し市社協会会長より表彰。

期日 令和2年1月18日（土）10：00～12：00

場所 武雄市文化会館 小ホール

講演 写真家・ジャーナリスト 國森康弘氏  
「命をつなぐということ～看取りの現場に想う～」

#### 7. 社会福祉士実習生受入事業

福祉に携わる人材育成を目的に大学より依頼を受け、社会福祉士養成課程（相談援助実習）の学生を受け入れた。

受入れ先：長崎国際大学 1名（8/7～9/13の中23日間）

#### 8. 災害ボランティア支援事業

被災者の生活再建を支援するため、8月30日から旧北方支所に災害ボランティアセンターを開設した。ホームページによる広報の他に被災者へ同センターのチラシ配布などの広報を行い、ボランティアニーズの受付、ボランティアの方の受入を行い、ボランティアの方を被災者宅へ派遣し、床下のどろ出し、畳や家財道具の運び出し、清掃などボランティア活動を行っていただいた。（10月31日閉鎖ボランティア数5,612名、活動件数1,244件。）

#### 9. 共同募金運動

##### (1) 赤い羽根共同募金

10月1日から赤い羽根共同募金運動を実施し、区長会、民生委員児童委員協議会ほか、市民の皆様のご協力をいただき、下記のとおり多くの募金をお寄せいただきました。

募金種別	実績額（円）
戸別募金	7,099,750
法人募金	661,200
街頭募金	99,074
資材募金	165,500
学校募金	25,418
イベント募金	118,153
個人募金	10,000
その他	1,032
合計	8,180,127

##### (2) 歳末たすけあい運動

歳末たすけあいの篤志募金は96,858円。

市内の11福祉施設（養護老人ホーム、福祉型障害児入所施設、障害者支援施設、就労支援施設A型、就労支援施設B型6施設、地域活動支援センター）に25,000円ずつ合計275,000円歳末たすけあいの配分金を支出した。

不足分は社協会計（社協会費、寄付金）より支出。

##### (3) 義援金

平成30年7月豪雨災害義援金	2,839円
令和元年8月豪雨災害義援金	161,691円

## 10. 赤十字活動

### (1) 社員増強運動

5月に全国一斉に展開される「赤十字運動月間」に伴い、区長会・婦人会のご協力を得て、市内全戸に対し赤十字活動を支える会員としての呼びかけを行い、会員増強運動を実施した。

	元年度年度 会員数	会費 (円)
社費 (1口 600円)	14,341	8,604,300

### (2) 講習会

#### ①赤十字運動イベント「防災セミナー」

杵島・武雄地区区分区合同で、災害の備えについての講話や災害食づくりに参加呼びかけた。

期 日 令和元年5月11日 (土)  
 会 場 江北町B&G体育館  
 参加者 武雄市民生委員16名参加

#### ②水上安全法講習会

夏場の水の事故防止に備え、学校の夏休みのプール監視員も対象に含めて開催した。

期 日 令和元年7月16日 (土)  
 会 場 山内中央公園スポーツセンター及びプール  
 対象者 一般並びに学校関係者  
 内 容 心肺蘇生、AED、溺れた人の救助法  
 参加者 55名

### (3) 災害見舞品の交付

・令和元年度8月豪雨災害で市内で被災した世帯に対し、見舞い品（緊急セット24ケ、安眠セット140名分、バスタオル119枚）を届けた。

・火災にあわれた4世帯に見舞金各1万円、緊急セット4セット、毛布8枚、バスタオル8枚を届けた。

### (4) 義援金受付

平成28年熊本地震義援金	10,000円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	1,762円
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	227円
令和元年8月豪雨災害義援金	197,060円
令和元年台風19号災害義援金	9,182円

### (5) 災害救援講習会助成事業

災害救援の啓蒙や地域住民による災害時の知識や技術習得のための講習会などに取り組む地区に対し、1地区2万円を上限に助成金を交付した(3地区)。